



Bank of Japan Fukushima Branch

福島県金融経済概況

【概 要】

（経済情勢）

県内景気は、足踏みしている。

最終需要の動向をみると、個人消費は、横ばい圏内の動きとなっている。住宅投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、緩やかに持ち直している。公共投資は、下げ止まりつつある。

鉱工業生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、横ばい圏内の動きとなっている。

雇用・所得環境は、求人に弱めの動きがみられるものの、所得面を中心に緩やかに改善している。

消費者物価は、前年を上回って推移している。

先行きについては、物価上昇の個人消費への影響、雇用・所得の動向に加え、各国の通商政策や中東情勢の展開とそれに伴う経済・物価への影響に注意していく必要がある。

（金融情勢）

実質預金は、前年を下回っている。貸出は、前年を上回って推移している。貸出約定平均金利は、緩やかに上昇している。企業倒産は、このところ増加に転じている。

【前回からの変化】

総括	個人消費	住宅投資	設備投資	公共投資	生産	雇用・所得
➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡

（注）

- ↑ : 前回から改善度合いが強まっている、もしくは悪化度合いが弱まっている。
- ➡ : 前回から変化なし。
- ↓ : 前回から改善度合いが弱まっている、もしくは悪化度合いが強まっている。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行 福島支店 総務課

TEL: 024-521-6353

本資料は、ホームページ
(<https://www3.boj.or.jp/fukushima/>)
にも掲載しています。



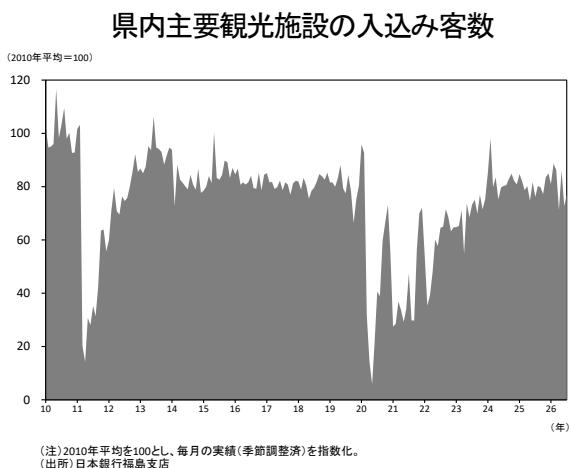
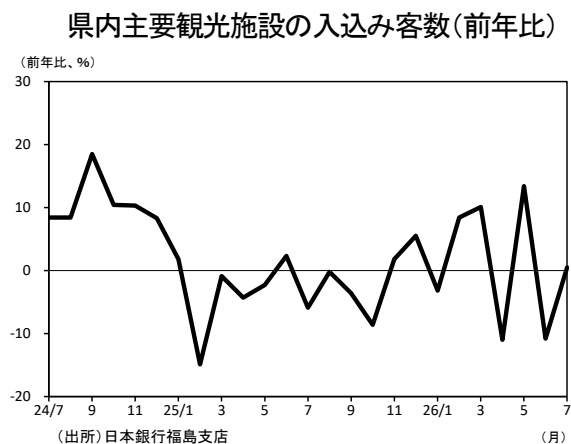
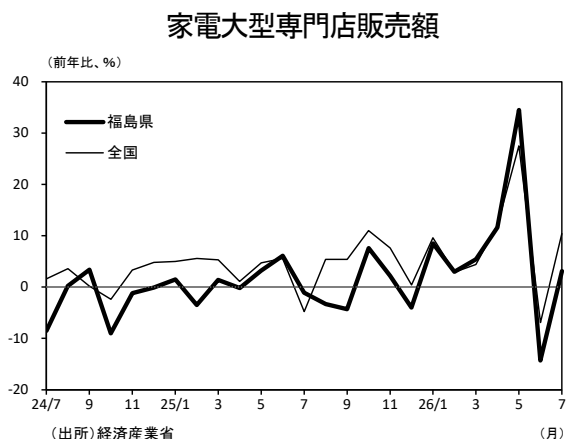
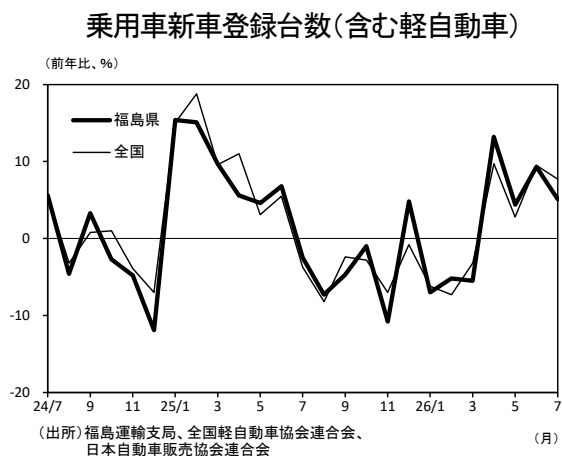
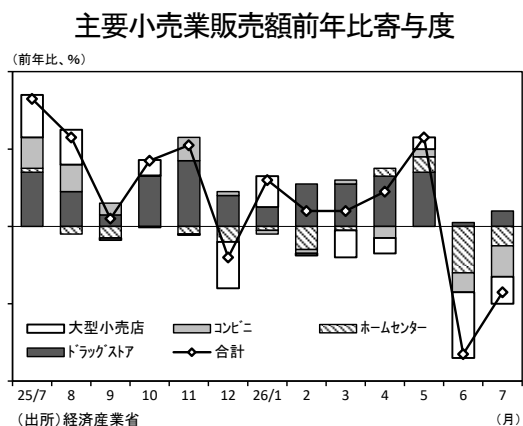
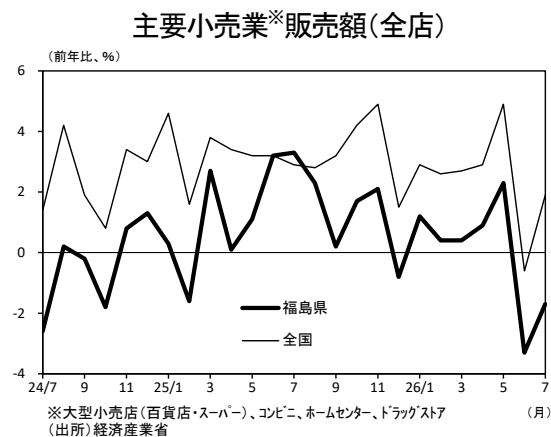
次回の公表予定：2026 年 10 月 22 日（木）14 時

1. 需要項目別の動向

【個人消費】

個人消費は、横ばい圏内の動きとなっている。

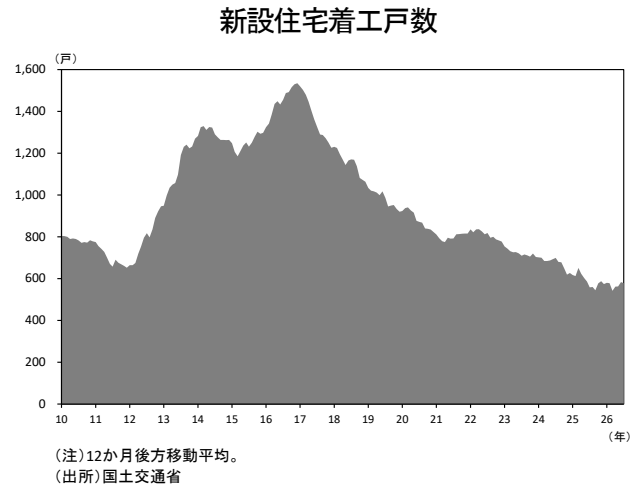
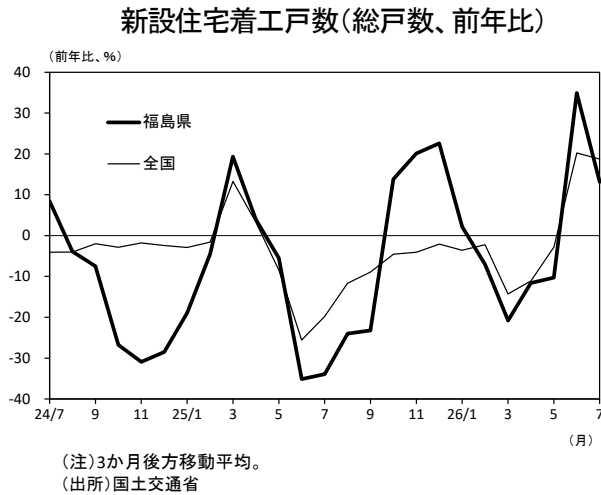
主要小売業販売額（7月）は、前年を下回った。乗用車新車登録台数（7月）は、前年を上回った。家電大型専門店販売額（7月）は、前年を上回った。県内主要観光施設の入込み客数（7月）は、前年を上回った。



【住宅投資】

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

新設住宅着工戸数（7月＜3か月後方移動平均＞）は、前年を上回った。

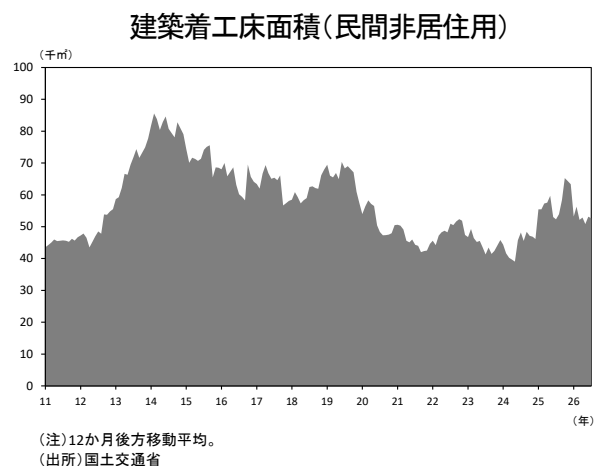
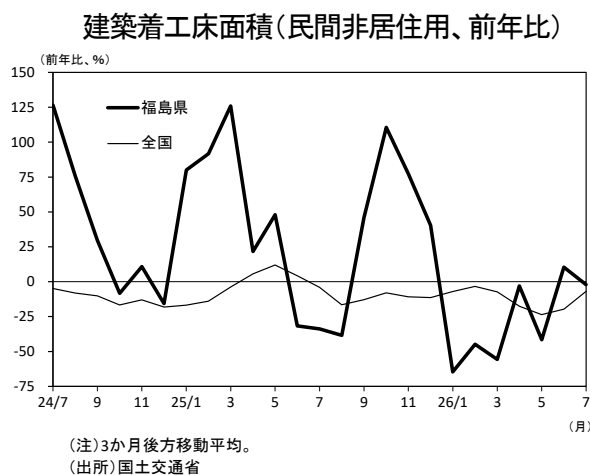


【設備投資】

設備投資は、緩やかに持ち直している。

6月短観で県内企業の設備投資計画をみると、26年度は、一部大型案件の影響により前年比減少となっているものの、製造業において能力増強投資がみられることなどから、例年と比べても高めの計画となっている。

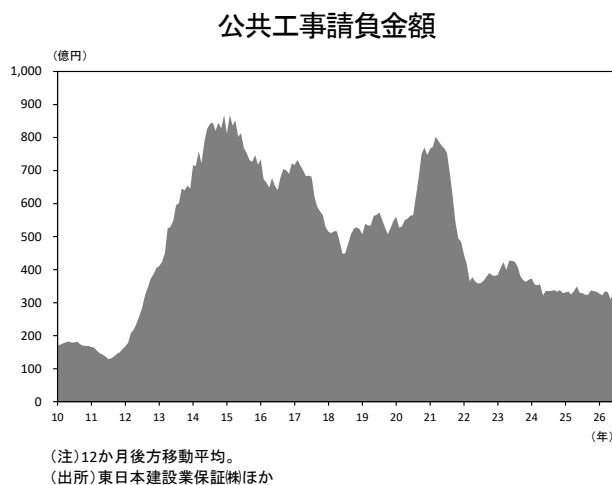
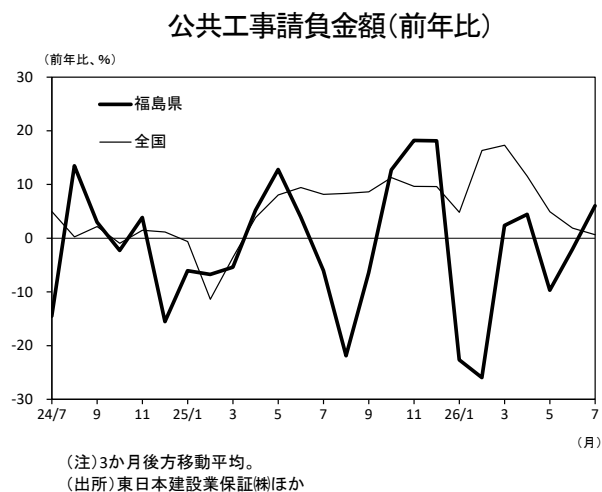
建築着工床面積（民間非居住用）（7月＜3か月後方移動平均＞）は、前年を下回った。



【公共投資】

公共投資は、下げ止まりつつある。

公共工事請負金額（7月＜3か月後方移動平均＞）は、前年を上回った。

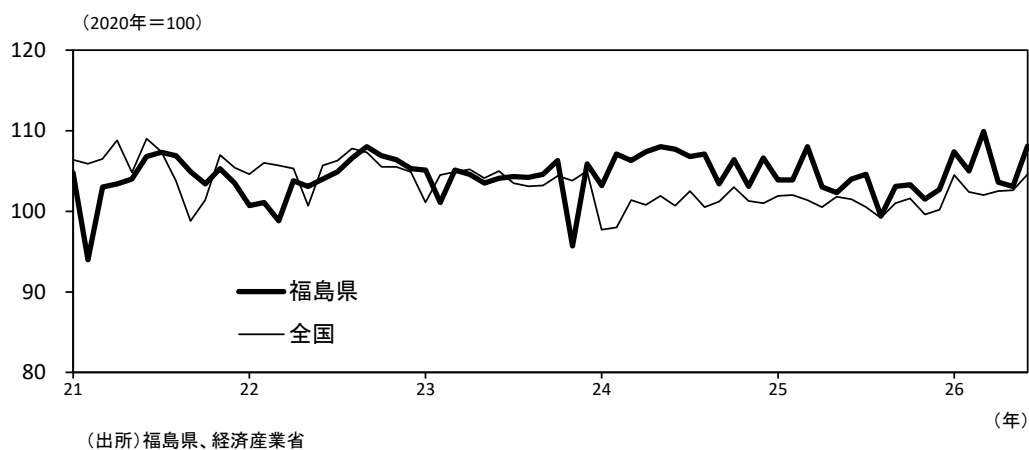


2. 生産動向

鉱工業生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、横ばい圏内の動きとなっている。

鉱工業生産指数（6月）は、前月比上昇した。

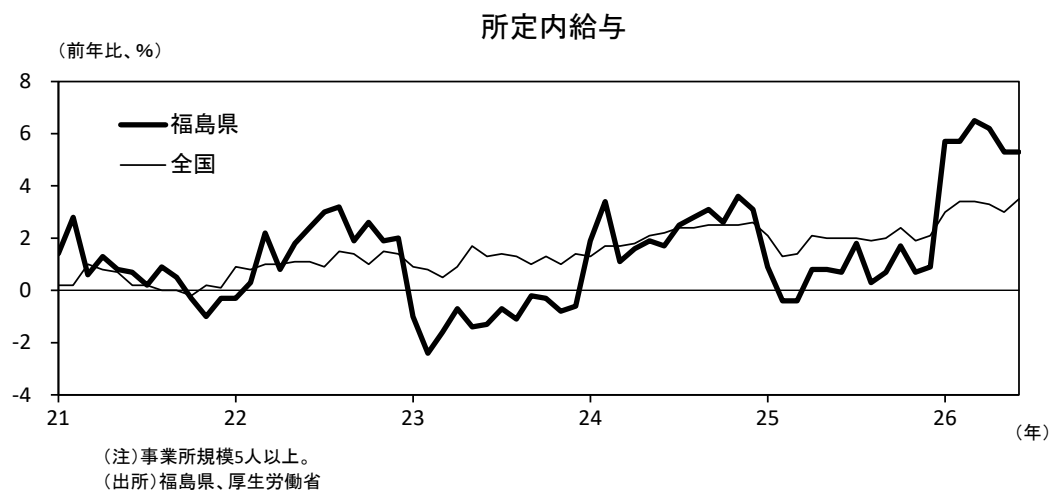
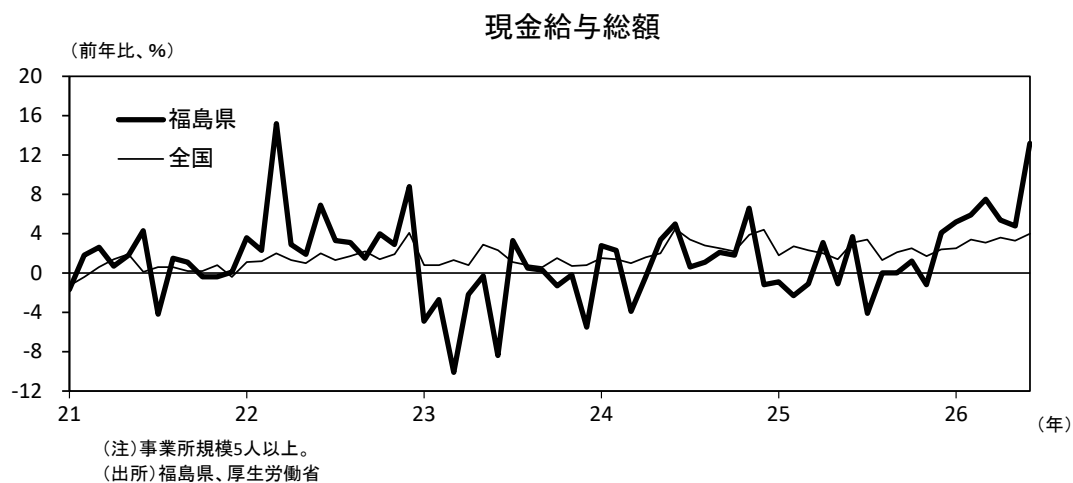
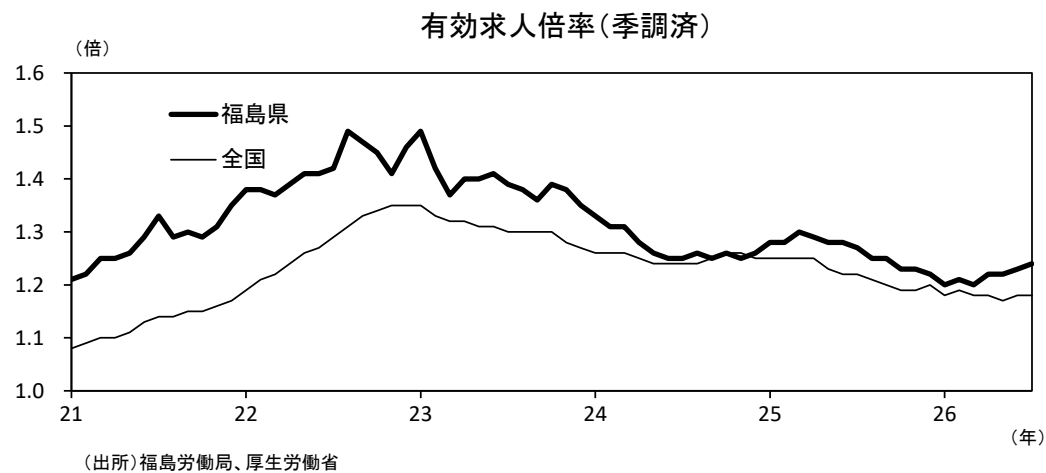
鉱工業生産指数(季調済)



3. 雇用・所得

雇用・所得環境は、求人に弱めの動きがみられるものの、所得面を中心に緩やかに改善している。

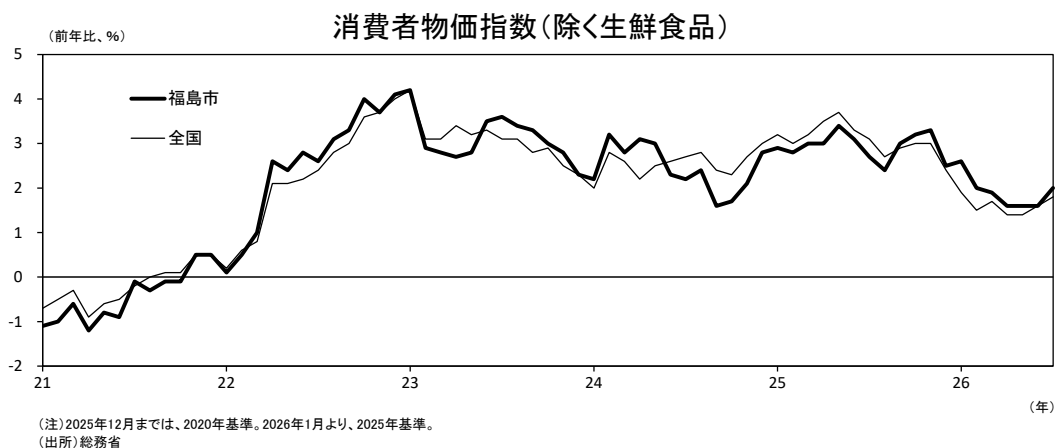
有効求人倍率（7月）は、前月に比べ上昇した。現金給与総額（6月）および所定内給与（6月）は前年を上回った。



4. 物価

消費者物価は、前年を上回って推移している。

消費者物価指数（除く生鮮食品）（7月）は、前年比+2.0%となった。

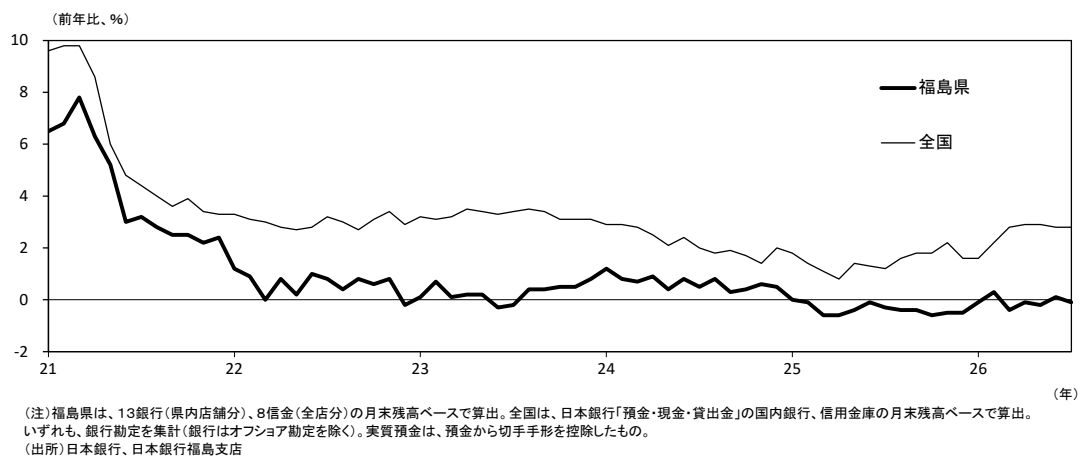


5. 金融情勢

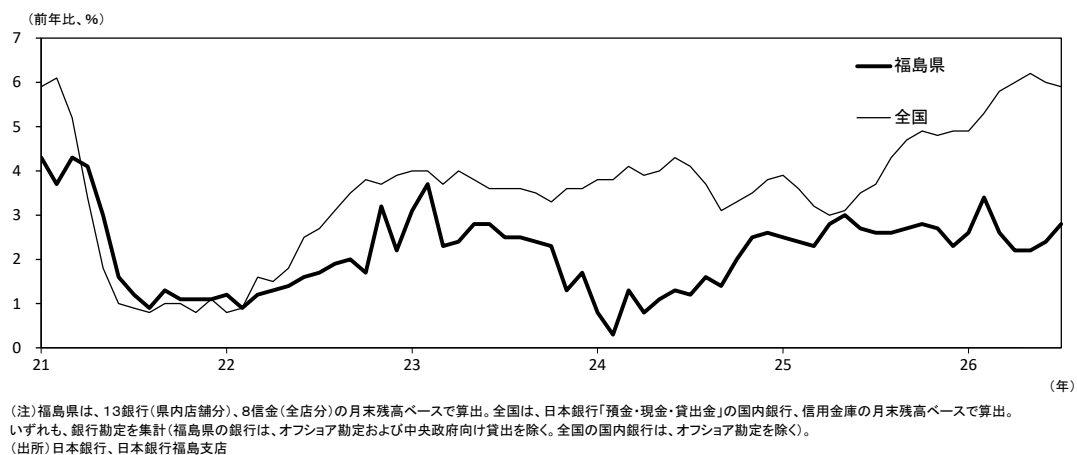
実質預金は、前年を下回っている。

貸出は、前年を上回って推移している。

民間金融機関実質預金



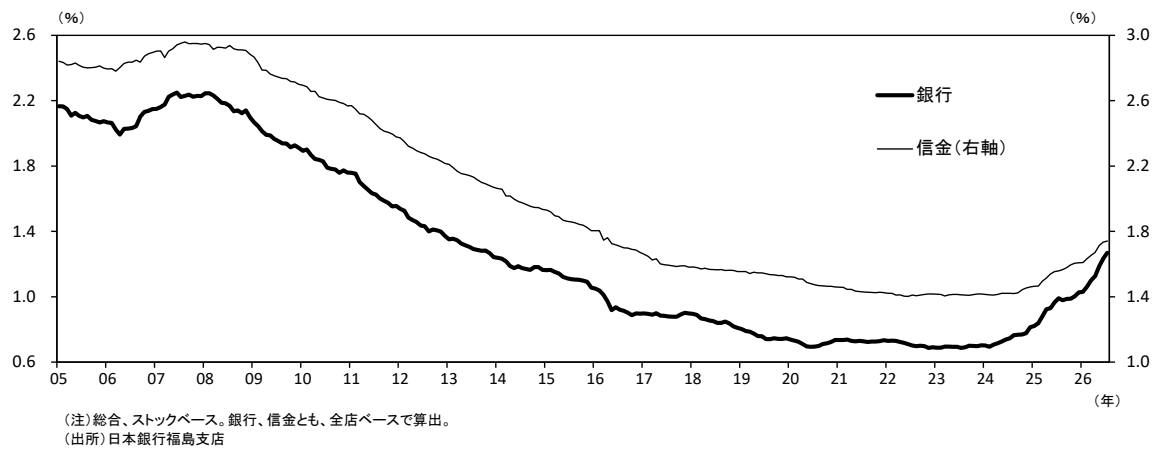
民間金融機関貸出



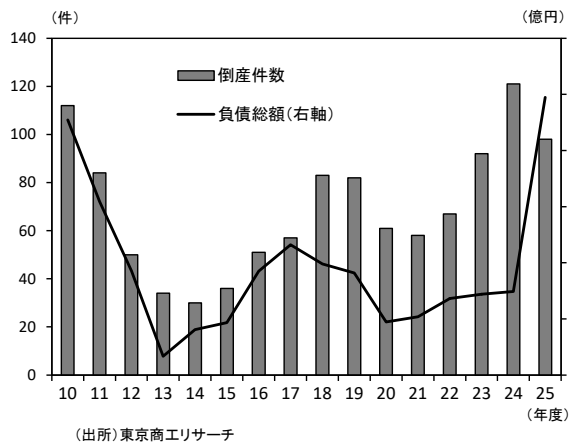
貸出約定平均金利は、緩やかに上昇している。

企業倒産は、このところ増加に転じている。

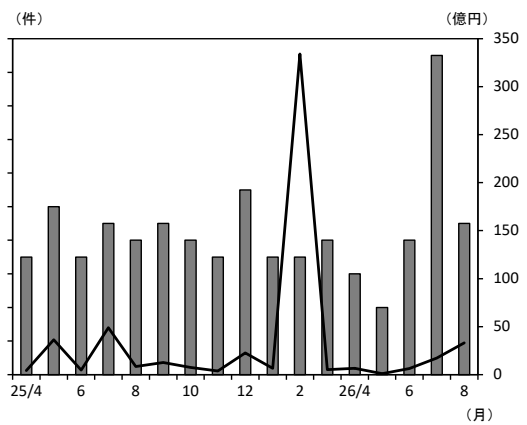
管内11行庫 貸出約定平均金利



企業倒産状況



企業倒産(月次)



以 上